



# あたらしい本のご案内

# 2月

## 子ども・YA(中・高生向け)

<p><b>こんとまゆみちゃん E 任</b></p> <p>こぎつねの <b>こんとまゆみちゃん</b>は <b>あしたもあうやくそく</b>をします。けれど、つぎのひ、いつまで <b>まってもまゆみちゃん</b>は…。こぎつねと女の子の友情の物語。(いもとようこ作 世界文化社)</p>	<p><b>ハルルさんの ひでんのカレー E ス</b></p> <p>ハルルさんが、19しゅるいの <b>スパイス</b>の <b>はい</b>った <b>おいしいカレー</b>の <b>つくりかた</b>を <b>おしえる</b>よ。「給食の母」佐々木十美さんの「<b>素材から作る</b>カレールー」から生まれた絵本。(すずきもも絵 アリス館)</p>
<p><b>きみの背中を押す偉人の言葉80 K159 ニ</b></p> <p>イエス・キリストをはじめ、<b>ブッダ</b>や<b>ガンジー</b>など世界各地で人々を導いてきた<b>宗教家</b>や<b>偉人</b>たちの言葉を、10分でひとつ読みきれる、やさしい解説で紹介。(西沢泰生著 メイツ出版)</p>	<p><b>ちいさなトガリネズミ K913 ミ</b></p> <p>トガリネズミは働きもの。毎日同じ朝食を食べ、同じお弁当を持ち、きっちり時間どおりに仕事をし、同じ時間に帰ってくる。だけど今日は、ひとついいことがあって…。(みやこしあきこ作 偕成社)</p>
<p><b>認知症のわたしから、10代のあなたへ YA493 ナ</b></p> <p>若年性認知症と診断されて、家から出られなくなってしまった著者が、認知症当事者や支援者との出会いをかさね、次第に地域に活動の輪を広げてゆく日々を描く。(さとうみき著 岩波書店)</p>	<p><b>手で見るぼくの世界は K913 サ</b></p> <p>佑と双葉は視覚支援学校に通う中学1年生。ところが、双葉はある事件がきっかけで不登校に。双葉と連絡が取れなくなった佑は、授業や白杖の訓練にも身が入らず…。(榎崎茜作 くもん出版)</p>

## 一般

<p><b>小説 ワンダーランド急行 F オキ</b></p> <p>会社をサボリ、スーツで山に登った40歳の野崎修作。「日常」に戻ると、街も家も会社も、何かおかしい。どこかで聞いたような疫病が世界を分断し、新宗教の持つ票があらゆる選挙を左右していた。(荻原浩著 日本経済新聞出版)</p>	<p><b>小説 江戸一新 F が</b></p> <p>江戸の大半が焼けた史上最大の惨事「明暦の大火」。その復興に立ち上がった男がいた。「知恵伊豆」と呼ばれた老中・松平伊豆守信綱は、町奴・花川戸の長兵衛を「斥候」に使い、江戸の建て替えに乗り出す。(門井慶喜著 中央公論新社)</p>
<p><b>小説 戦国十二刻 女人阿修羅 F キノ</b></p> <p>長久手の戦いで家康が勝利するまでの24時間。伊達家と最上家を和睦させるまでの24時間。父光秀の死の真相に近づくまでの24時間…。荒れ狂う世に翻弄された女性たちの濃密な24時間を描いた時代小説。(木下昌輝著 光文社)</p>	<p><b>小説 青いパステル画の男 953 口</b></p> <p>パリの弁護士ショーモンの趣味は骨董収集。ある日、オークションで自分そっくりの18世紀の肖像画を落札する。この男は一体誰？ 肖像画に描かれていた紋章を頼りに、男の正体を探す旅に出るが…。(アントワヌ・ローラン著 新潮社)</p>

書名	著者名	ジャンル	ラベル
チャートと地図でわかる 徳川家康と最強家臣団	小和田 泰経	歴史	210.4 オ
60代からのひとり分 たんぱく質鍋	村上 祥子	料理	596 ム
鉄道きっぷ探求読本	後藤 茂文	鉄道	686.5 ゴ
ゼロから分かる！ 知れば知るほど、面白い ジャズ入門	後藤 雅洋	音楽	764.7 セ